第１１回総務経済常任委員会会議記録

開閉会日時	令和７年１２月２日（火曜）　　午後２時３５分　開会			
	休　憩　2：58-2：59　3：02-3：03　3：26-3：28　3：29-3：30			
	3：42-3：55　3：55-3：56　4：27-4：28　4：29-4：29			
	4:33-4：34			
	午後４時４０分　閉会			
	休憩時間：　０時間２１分　　会議時間：１時間４４分			
会議場所	役場３階委員会室			
出席委員氏名	委員長　木村　淳彦	委　員　伊藤　稔		
	副委員長　堀切　忠	委　員　菊池　秀明		
	委　員　正村紀美子			
	委　員　早苗　豊			
説明員	農林課長	髙橋　力	都市経営課長	佐藤　季之
	農畜産振興係長	髙瀬　義則	都市経営課長補佐	佐藤　史彦
	農林企画係長	大浦　啓介	総務課長	佐々木快治
	水道課長	次田　裕二	総務係長	森　敏也
	水道工務係長	玉村　大輔	環境土木課長	橋本　直樹
	水道庶務係長	一色　貴仁		
参考人				
欠席委員氏名	委　員　鈴木　健充			
事務局職員	事務局長　安田敦史	総務係主査　大石真澄		

『会議に付した事件と会議結果など』

1　開　会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2　議　件

（１）調査事項

ア　ヒグマ対策について　資料１

・農林課長：概要について説明。
・農畜産振興係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・菊池委員：出没時対応マニュアル、ヒグマ基本計画の策定状況は。
・農畜産振興係長：現在、各担当課で実行マニュアルを作成中。それらを取りまとめ、出没時対応マニュアルとする考え。
・菊池委員：完成予定は？
・農林課長：出没時対応マニュアルは、R7 年度中に策定予定。

・菊池委員：担い手対策について、さらに具体的な計画が必要では。
・農林課長：既存の助成は継続する。環境省等で、様々な補助が出てきている。補助制度等の取り扱いについて、今後検討する。
・菊池委員：警察官のライフル使用が解禁された。町、猟友会、警察の役割分担はどのように整理されているのか。
・農畜産振興係長：緊急銃猟については、協議中。警察官による駆除については、従前どおり警職法での対応になると考えている。
・早苗委員：町内での熊捕獲の状況は？
・農畜産振興係長：ハンターが鹿を狩猟中に遭遇した熊を捕獲したもの。
・早苗委員：農地や牧草地で捕獲されているわけではないのか。
・農林課長：畑に出没した熊を駆除したものではない。
・早苗委員：人間の生活圏にクマが出没している状況ではないということか。
・農林課長：郊外地に出没している状況だが、市街地に近いところでの目撃情報や、痕跡が見られるため、油断はできない。今後も警戒に努める。
・早苗委員：餌になるものを屋外に置かないなどの予防対策は発信しているのか。
・農林課長：HP、広報誌で注意喚起は実施している。
・堀切委員：町に通報があってから、公式ＬＩＮＥで周知されるのに、どのくらいの時間がかかるのか。
・農畜産振興係長：個体の目撃情報は１時間以内。糞、足跡などの情報は、２時間以内をめどに発信している。
・堀切委員：捕獲情報は発表しないのか。
・農畜産振興係長：掲載可能だが、いままでは捕獲情報を発信していなかったので、発信するとしたら、どのように発信するのが良いか検討中。
・菊池委員：ガバメントハンターの採用について検討しているのか。
・農林課長：検討していない。
・伊藤委員：熊が河に沿って移動していると聞くが、河川敷地の草刈りなどはしないのか。
・農林課長：管理上の問題から、町がすべての河川敷地の草刈りを実施するのは難しい。山裾の草刈りについては、可能な範囲で協力いただけるよう周知していきたい。
・委員長：ほかにないか？
・（なし）
・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ　令和７年度農畜産物の生産見込みについて　資料２
・農林課長：概要について説明。
・農林企画係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・（なし）
・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ　町営牧場の統合について　資料３

・農林課長：概要について説明。
・農畜産振興係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・菊池委員：少数だが反対意見もある。そこをどうとらえているか。
・農畜産振興係長：立地が遠くなるとか、牛の管理についての意見があったが、統合に向けて大きな反対はないと判断した。
・菊池委員：統合後、町外牛は、受け入れないのか
・農畜産振興係長：光勇牧場の受け入れ能力から、町内牛を中心に考えている。
・正村委員：牧場の政策的役割を再構築するための統合だと思うが、目的と手段を検討したうえでの統合なのか。
・農林課長：経費を抑制しつつ、健全経営に向けての統合である。
・正村委員：説明は理解するが、赤字と老朽化等の課題の関連性は分析しているのか。
・農林課長：2 か所の運営では、赤字の解消は難しい。統合して経費を圧縮していく。
・正村委員：公営牧場の役割や牧場運営の目的について、町としてどのように考えたうえで、統合となったのかを伺いたい。
・課長：目的については、再度整理しながら、進めたい。
・委員長：ほかにないか？
・（なし）
・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ　芽室町水道事業施設整備基本計画の改定について　資料４

・水道課長：概要について説明。
・水道工務係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・（なし）
・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

オ　地域集会施設の管理業務について　資料５

・都市経営課長：概要について説明。
・都市経営課長補佐：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・菊池委員：市街地と農村で対応が異なるが、将来的に一元化する予定なのか。
・都市経営課長補佐：農村地区からも要望がある可能性はある。現状では、市街地と農村部は条件が異なる。また、農村部も含めるとなると事業費が膨大になるため、現時点では、農村部については対応できない。
・菊池委員：管理方法の変更により、地域集会施設の地域性が低下するのでは。
・都市経営課長補佐：今回の変更により地域利用が減少する可能性はあるが、管理人不足を解消するには、１か所に集約し、事業者による運営とするのが最善。キャッシュ

レス決済の導入など、利便性を向上させながら進めたい。
・堀切委員：スマートロック導入施設を、今後、拡大する予定はあるのか。キャッシュレス決済の詳細は。
・都市経営課長補佐：まずは、今回提案の３か所のみ導入する。老朽化している施設も多く、今後再整備とあわせて検討する。キャッシュレスは、クレジットカードによる支払を想定している。
・正村委員：施設統廃合の前提がある中、なぜ、管理方式の変更だけを先行させるのか？再整備計画との整合性は？
・都市経営課長補佐：再整備計画は、統廃合ありきの計画ではない。まずは、課題の大きい管理運営方法を改善したい。
・正村委員：耐震性がない施設もある。どのように再編していくのかを確定してから進めなければ、無駄な経費をかけることになるのではないか。
・都市経営課長補佐：委託経費の積算は人工による。業務内容から最低 3 人区は必要であり、施設の数によって経費に大きな違いはない。
・正村委員：概算で委託料はどの程度を想定しているのか。また、管理を委託しても、耐震化の問題は残る。検討に委託先が関わるようなことはあるのか。
・都市経営課長補佐：概算委託料は、2,600 万円を想定している。さらに、光熱水費が 600 万円。現行予算と比較し、1,900 万円程度の増額となる。再整備や耐震化については、町が判断する。
・正村委員：かなりの経費がかかるが、使用料見直しは、どのような想定か。
・都市経営課長補佐：現時点で具体的な回答はできない。今後検討する。
・正村委員：いままでは、地域で運営する理念を尊重してきた。委託となると方向性が大きく変わる。今後、地域集会施設の位置づけが大きく変わるということか。
・都市経営課長補佐：基本的には、今までと変わらないし、整備計画を尊重していく。ただ、大きな施設だと、地域外の方の利用が増えているのも現実である。公共施設なので、地域の方、地域外の方も含め、毎日使用していただき、それぞれ使用料をいただきながら運営できるようにしていくことが大切だと考える。
・正村委員：営利使用も検討するなら、貸館利用となる。既存の公共施設（公民館、めむろーど等）との関係性はどうなるのか。町として、既存の地域会館をすべて維持していくとなると経費もかさむ一方ではないか。
・都市経営課長：管理に課題があり、その解決法として一定の方向性を見出したことから今回の説明となった。地域集会施設の目的は、地域コミュニティであることは変わらない。市街地の集会施設の在り方については、令和 8 年度中に検討し、令和９年度からの次期計画に位置付けたい。
・早苗委員：予約システムは町内全施設で稼働するのか。
・都市経営課長補佐：農村部でも希望があれば、予約システム、キャッシュレス決済の導入が可能。
・早苗委員：予約システム等を導入したら、地域で委託管理料はもらえないということか。
・都市経営課長補佐：管理運営を地域に担っていいただくのは変わらない。予約システ

ムとキャッシュレス決済を導入できるということ。
・委員長：ほかにないか？
・（なし）

・委員長：以上で調査事項「オ」を終了する。
・委員長：「職員給与改定等について」追加の調査事項としたい。異議ないか。
・（異議なし）

当日追加　「職員給与改定等について」　　当日追加資料１
・総務課長：概要について説明。
・総務係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・（なし）

・委員長：以上で当日追加「職員給与改定等について」を終了する。

・委員長：自由討議を行う。意見はないか？

ウ　町営牧場の統合について
・正村委員：町営牧場の統合について、経営効率化を目的とするとの説明だった。財政効果を理由とするなら、人件費などの維持管理費について、数字的比較ができるような調査が必要。

オ　地域集会施設の管理業務について
・正村委員：市街地の地域集会施設の再編については、まだまだ課題があり、今後の方向性は町が明確に示すべき。また、地域の方が必要だから利用しているのか、他の公共施設より安価だから利用されているような状況があるのか。貸館としてどうなのか、町として整理が必要。調査を継続すべき。
・早苗委員：地域で維持管理ができないことが委託の理由であり、委託により経費が倍増する。住民説明では、管理方法の変更により、それ相応の負担増があることをしっかり説明させるべき。

・委員長：各委員から意見があった。各調査事項について、指摘された部分に注視しながら、継続調査とする。

・委員長：以上で自由討議を終了する。

３　その他
（１）次回委員会の開催日程について

正副一任

（２）その他
・委員長：「その他」で各委員からないか？
・（なし）
・委員長：議長からないか？
・（なし）
・委員長：事務局からないか？
・（なし）

以上をもって、総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	０名	報道関係者	２名	議　員	１名	合計	３名

令和７年１２月２日

総務経済常任委員会委員長　木村　淳彦

議　長	副議長	局　長	係　長	主　査	作成者氏名
					大石　真澄